

# 品人 店技

## —ファイル9—

### 株式会社 ムラタサイクル ヒートワン

横浜市前郷字大乗塚45-1 TEL.32-5848 FAX.33-4200  
E-mail:heatone@poplar.ocn.ne.jp



【創 業】昭和28年6月  
【営業時間】9:00~19:00  
【定 休 日】月曜日  
【取 扱 品】  
ハーレーダビットソン  
ホンダ二輪



#### プロフィール

むらた 秀彦  
村田 秀彦

昭和36年3月9日 横手市生まれ  
特技：酔ったあと甘いものを沢山食べれる  
趣味：旅行・ツーリング

五月に入ってやっと暖かくなり、これからの季節、ライダーにとって最高の季節ではないでしょうか。今回は県内に二店舗しかない、ハーレーダビットソン正規販売店の株式会社ムラタサイクルヒートワンさんをお尋ねしました。"夢は叶うものですね..."

本日は晴天なり！  
お邪魔した日は、ツーリングに出掛けたくなるような、そんな晴れ（ハーレー）やかな空でした。  
お店の外には数台のハーレーが展示されており、試乗も出来るようです。

おはようございます。  
（あまりにもさわやかな天気のおかげでスタップの声も心なしか弾みます。）

早速ですが、お父さんが自転車屋さんで、社名がムラタサイクルさんですが、社長さんも最初は自転車屋さんの仕事から始められたんですか。

うーん、そもそも自分は家の商売を継ぐつもりはなくて、旅行関係の仕事に就きたいと思っていました。でも、高校三年生の夏休みに親から「高校を出たらここに勤めるように」と、仙台のホンダ系列の会社に連れて行かれたんです。

えー！私達はつきり社長さんがバイク好きでこの仕事をされているのかと思いましたが、違ったんですね。

バイクに乗る条件として、倒れたバイクを起こせないためなんですよ。女性でも大丈夫ですか。

それは私たちも指導しています。割と簡単に起こすコツがあるんですよ。もともとハーレーは重心が低くて足付きが非常に良いので、そんなに倒れないですよ。

そうですね。足がつかないのはやっぱりちょっと怖いですが、安心してました。すっきり乗る気になっっている、いつもの「なりきりスタッフ」

今は特に女性ライダーや身長の低い人用に開発されているハーレーもありませんので、あらゆる人に楽しんでもらえると思います。

ツーリングクラブもあるんですね。また、行く時は、何人くらい集まっていますか。

世界中の会社が入っているチャータークラブのことがありますが、チャリティとして、里親運動も行っていきます。

ツーリングには県南中心の仲間が集まり、去年は50人位集まっています。毎年イベントがありますので、それに向けて集まりキャンプしたりして、終日楽しむといったスタイルです。



▲店内にはピッカピカのハーレーが!!

たき上げで身に付いていくものですか、やっぱり経験がものを言いますね。まだまだ父のようにはいけません。

バイクは自分で乗ったりはしないのですか。

横手に戻ってきて、たまたま三輪バギーのレースに参加してみたから、競って走るのが楽しくなって、それからですね。乗りは始めたのは...。もともと仙台で動いていたバイク店がオフロード系のバイクを扱っていたこともあって、そっちの方が好きでした。

そうですね。ツーリングで走るのではなく、あくまでもオフロードバイクにはまっていったという感じですね。

そうですね。はまっちゃったんですヨ(笑)

お店でハーレーを扱うように

旅行関係の仕事をしたという夢に不思議と繋がってきていますね。

あっ！そうですね。繋がっていますね。実はオーストラリアも走ってきたんですよ。自分でプランを立てたりして...。東北ティールーの旅行委員長もやっているし、かなり繋がってきていますね(笑)

やっぱり繋がってきていますよ。夢は叶えられていますね！さらに今後の夢は何があるんですか。

ありますよ。ベトナムをスーパーカブで走ってみたいとか。アメリカをハーレーで走ってみたいとか...。色々ありますよ。

なんかその夢も近い将来叶いますね。

楽しい話と晴れ渡った空のせいですが、スタップはすっかりハーレーに魅了されてしまいました。自動車学校に通う日が近いかも...



▲ハーレーを前にスカートで残念がる「なりきりスタッフ」

つたのは、このような経緯からですか。

最初は国産のオフロードバイクを扱っていましたが、ハーレーを扱ってみたいかと誘われ、高価なので難しいと思い、二回程断ったんです。でも予想外にハーレーに乗ってみたいという人が多かったんです。ただ県南地区では購入しても情報を交換する場所も店もないということ、不満に思っているお客様が多いことに気づき、ハーレーを扱うようになりまし。この店は二〇〇二年の九月、ちょうどハーレーの本社が一〇〇周年という記念の年に開店しました。ハーレーは車体も大きいので、広いスペースが必要でしたし、またバイク店のサービスマン部門である分解整備事業には、国の認証コードの取得が必要になり、それには資格を持った人材と、整備できるだけの広さがないと営業できなくなることあったので...



▲店舗となりのおやすみスペース

ハーレーはどっしりしているの、スポーツタイプのバイクよりは怖くないですね。今日みたいな天気の良い日は気持ちがいいですね。  
もともとアメリカの人たちは、夫婦で余暇を楽しむのが上手なので、そういうことでは日本もアメリカっぽくなってきたのかなあと思っています。



県外からのお客様も立ち寄りたりされますか。

はい。心の繋がりでというか、この辺の土地柄のせいもあると思うんですが、立ち寄ったお客様に対して、「お茶っこ飲んでって」と声を掛けます。そんな一言がうれしいというて又来てくれる方がたくさんいます。ハーレーを通じて商売だけでないそんな心の繋がりが最高ですよ。

そうですね。やっぱり店もそうですが、そこにいる人との繋がりがあから又来たくなるんですね。

それはすごく感じます。うちは店の作りもお客さんがゆっくゆっくつるげ様なスペースにこだわっています。

(外にはカフェテラス風に、いすどテーブルが置いてあります。)  
国道をハーレーで走ってきた人、手を振ったりして...

いいですね。やっぱり立ち寄りたくさんありますよ。

先程から色々お話を伺っていて気づいたんですが、社長さんはハーレーを通して、最初の夢だった